

1. はじめに

宮地小学校の福祉教育の目標は、「共に生きる喜びや人々とふれあう喜びを通して人を大切にし、自分にできることを見つけて実践する」です。自他のよさや違いを認め合い、感謝の気持ちを大切に、進んで自分にできることを考え実践していくことをねらいとしています。4年生では、福祉施設を訪問し高齢者の方々との交流を行っています。交流のめあては、「高齢者の方のことをよく理解し、互いに笑顔になれる交流をしよう」です。相手の立場にたち、どう関わるとよいのか考えて思いやりをもった接し方を意識してきました。

2. 活動事例

宮地小学校4年福祉の実践

「サンビレッジ宮路」訪問

訪問のめあては、「思いやりの気持ちをもってお年よりとふれあうことで、自分にできることは何かを考え、実行することができる」です。年間を通して5回ほど訪問しました。その中で子どもたちの声3例を紹介します。

【活動内容】

- ①歌 ②自己紹介
- ③利用者の方との交流 ゲーム

(1) 2019年7月3日 みんなで笑いました

2回目の訪問です。自分たちが作った魚つりやすごろくの遊びを使って、おじいさん・おばあさんたちと一緒に遊びました。「さかなつりでは、おばあさんが立ち上がった手を伸ばして釣っていました。『これなあに?』『じんべいざめ?』などと会話がはずみました。『点数を数えていると、頭の体操になるねえ。』と言ってくださってうれしかったです。」「すぐろくでは、一回休みのところに止まったので、みんなで笑いました。」「もう終わりのかな?また来てね。』と言われたので、次もまた行きたくくなりました。」



池田町立 福祉活動

～福祉協力校の活動紹介～

(3) 2020年2月14日 笑いがいっぱい

● なぞなぞ

例 あついと溶けてしまうダルマは、なうに?
逆立ちしても
名前が変わらない鳥は、なうに?

● かるた(手作りの句とかかるた)

例 「お」は、お茶のおいしい池田町
人生ゲーム(手作りのすごろく)

例 ラーメンを作りました。

↓千円払う。(ゲームの紙幣です。)

「笑いがいっぱいあり、喜んでもらえてうれしかったです。また、行きたいです。」「よく考えてあるね。」「言ってももらえてうれしかったです。」「いつもすわっている人が立ち上がったおとなしい人が手を伸ばしたりして、元気になったと言われました。なぞなぞは脳トレになると言われました。」「耳が遠い大きい声で言って。」「言われたので、大きい声ではっきり言いました。」「何回も来られてよかったです。」

3. 終わりに

「サンビレッジ宮路」の利用者の方との交流では、相手の気持ちを考えた接し方ができ、事前学習で学んだことを生かすことができました。これからも高齢者の方の気持ちを考え、笑顔でふれ合う交流を通して、共に生き、ふれ合う喜びを体験していきたいと思っています。ありがとうございました。



(2) 2019年12月13日 「おにいちゃん、かわええなあ」

4回目の訪問では、すぐろく、わなげ、ビンゴゲームをいっしょにやりたいと思って、作って持っていました。賞品として、クリスマスカードや折り紙の作品をもっていっしたら、とても喜ばれました。うれしかったです。」「『あわてんぼうのサンタクロース』を歌ったら、『おにいちゃん、かわええなあ。』と何度も言われたので、おは笑えてきました。」「カードを上手に書いてねえ。』と言われたのでうれしかったです。」「みんなに会えてうれしかったよ。ありがとう。』と言われました。私たちが帰るとき、部屋から手を振ってくれているのが見えました。また行きたいです。」